

2023 年度 認定看護師によるスキルアップセミナー

分野	対象者	開催回数	目標
がん化学療法	レベルⅡ以上	9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>① がん化学療法看護の特徴と看護師の役割を知る</li> <li>② がん化学療法の目的、治療計画、レジメンを理解することの意義を知る</li> <li>③ がん化学療法薬を安全に取り扱う必要性と曝露予防方法についての知識を得る</li> <li>④ がん化学療法薬を确实・安全に投与するための留意点について学ぶ</li> <li>⑤ がん化学療法を受ける患者の栄養について学ぶ</li> <li>⑥ がん化学療法による副作用の対策とセルフケア支援について学ぶ</li> <li>⑦ がん化学療法に用いられる薬剤の特徴と注意事項を学ぶ</li> <li>⑧ レジメンを取り上げて、投与管理上の留意点、注意すべき有害反応とその予防策・対応策、セルフケア支援を計画する</li> <li>⑨ がん化学療法における意思決定支援とチーム医療の重要性について考える</li> <li>⑩ がん化学療法を受ける患者と家族の看護実践において、学んだことを活用する上での自己の課題を見つける</li> </ul>
摂食嚥下障害看護	全看護師	5回	① 摂食嚥下障害についての基礎知識を習得し、障害の原因となっている病態を理解することで誤嚥や窒息を予防する
集中ケア	レベルⅡ以上	6回	① 工呼吸管理が必要な患者の状態を理解して、早期回復支援を目指した急性期の人工呼吸管理に関連した知識を習得し、実践に活かすことができる
救急看護 ファーストエイド	レベルⅡ	8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 症状やバイタルサインから患者の状態をアセスメントし、必要な観察・処置・看護を理解することができる</li> <li>② ファーストエイドナース(救急看護学会認定)の育成</li> </ul>
救急看護 臨床推論	レベルⅢ	5回	① 臨床推論の概念やプロセスを理解して、患者の重症度や緊急度を判断する知識を習得することができ、看護実践に活かすことができる
災害看護	レベルⅡ以上	1回 (1日)	① 外傷初期看護の質向上を目指し、その知識、技術を習得する
糖尿病看護	2022年度 糖尿病スキルアップセミナー 受講者	7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 糖尿病患者へのケアについて系統的に学び、各部署における役割モデルとなるスタッフを育成する</li> <li>② 糖尿病患者の足病変予防を実践できるスタッフを育成する</li> </ul>
手術を受ける患者の看護	全看護師	4回	① 手術看護を知ることで術前の準備、術後の観察ポイントを理解できる
慢性心不全看護	レベルⅠ以上	4回	<p>慢性心不全の病態知識・看護の基礎について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 臨床現場での慢性心不全患者へのケアへ活かすことができる</li> </ul>

感染管理	レベルⅡ 以上 (4年目 以上)	4回	ベーシック ① 感染予防の基本知識を身に着け、実践できる
	レベル Ⅱ・Ⅲ 以上	3回	スタンダード ① 感染予防の基本知識を身に着け、実践できる
	レベルⅢ 以上	4回	アドバンス ① 感染予防の基本知識を身に着け、実践できる
認知症看護	レベルⅢ 以上	5回	① 認知症患者やせん妄患者の対応について、提案や実践できる知識や技術を身に着ける ② 病棟での認知症・せん妄患者のコアスタッフとして活動できる

特定行為修了看護師

末永 順子	クリティカルケア分野
濱田 賢吾	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
	感染に係る薬剤投与関連
山口 弘恵	感染に係る薬剤投与関連
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連
	創傷管理関連、細部ドレーン管理、栄養及び水分管理に係る薬剤投与
前本 文恵	感染に係る薬剤投与関連
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
	創傷管理関連
黒木 真二	救急パッケージ

	呼吸器（気道確保に係るもの）関連 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 動脈血液ガス分析関連 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
福田 和行	診療看護師：21 区分 38 行為

## 認定看護師からのメッセージ

### クリティカルケア認定看護師 末永順子

私は 2021 年にクリティカルケア認定看護師を取得し集中治療室で働いています。

クリティカルケア認定看護師は、救急看護分野と集中ケア分野を統合し、特定行為を組み込んだ認定看護分野です。クリティカルケア看護は、あらゆる場で急性期にある患者さんの症状および重症度・緊急度に応じて、特定行為を活かし初期対応及び重篤化回避、早期回復支援を行っています。大切なご家族が急な病気で重篤な状況になるとご家族にも緊張や葛藤が生じます。そのため、心理的・社会的状況を理解して不安を軽減できるような家族ケアにも努めています。‘その人らしさ’を大切に日常生活の再構築が図れるよう質の高い看護ケアの提供を目指しています。

### 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 白石志穂

脳卒中を発症すると、麻痺・感覚・意識などが障害されます。思考・記憶・行為・言語・注意などが障害される高次脳機能障害が現れる方もいます。脳卒中を発症した患者さんやご家族は、自分自身や大切な人に起こっている変化に直面し、苦しみ・悩みながら少しずつ障害を向き合っていけます。私は、そういった患者さんやご家族の思いを傾聴し、辛さを受け止め、時にそっと背中を押し、意思決定を支える存在でありたいと思っています。当院からリハビリ病院へ転院された方が、自宅へ帰る前に顔を見せに来て下さることがあります。「こんなに良くなったよ」「リハビリ頑張ったよ」と、入院中につらそうにしていた患者様やご家族が笑顔を見せてくださった時、この仕事をしていてよかったと心から思います。一緒に看護の喜び、楽しさを実感しましょう。

### 救急看護認定看護師 黒木真二

救急の現場では、救急疾病、外傷、中毒などの多種多様な疾患を有したあらゆるライフステージの患者さんとそのご家族に対する看護を行っています。私は、看護師特定行為研修（救急領域パッケージ）を修了しており、特定行為の実践と共に救急看護認定看護師として一貫した質の高い看護が提供できるように心がけています。指

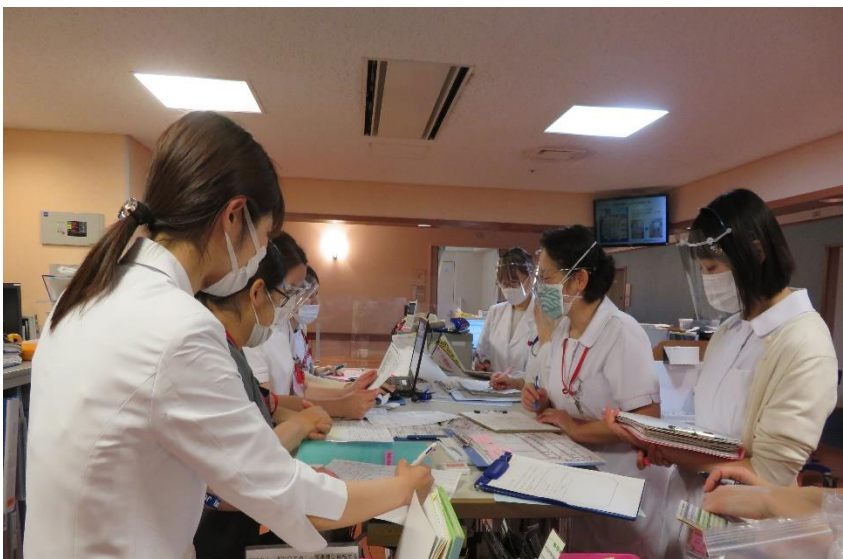
導面では、急変時対応、フィジカルアセスメント、臨床推論、院内トリアージ、災害看護などの知識・技術を院内スタッフに伝授しています。救急看護は、看護の力を最大限に発揮できる分野だと考えています。一緒に救急看護師としてのスキルアップ、そして、その先にあるスペシャリストを目指してみませんか。

## チームラウンド

### 緩和ケアチームラウンド



### 褥瘡チームカンファレンス



## ICT ラウンド



## 新人研修

ルームビルディング 病院探索 院長室を探せ!



## オーラルケア研修



## オーラルケア研修会



## スマートフォンを用いた呼吸音聴取



